

日本自転車振興会の取組みについて

平成17年11月14日

KEIRIN  日本自転車振興会

1 . 競輪が目指すべき方向

競輪のメジャー化

社会的認知度の向上 競技の「国際化」

競輪の活性化 - お客様が楽しめる競輪の実現



本年2月に移転オープン

新・松山競輪場



競輪選手がアテネ五輪で
銀メダルを獲得



2008年新装オープンに向け全面改修中

いわき平競輪場完成予想図



第56回日本選手権競輪
決勝戦・ゴール直後
優勝選手を迎えるファン

国民の広い層が参加できる
「健全娯楽」へ

2 . 組織のあり方

がんじがらめの特殊法人ではなく、自らの判断で事業を機動的に実施できる
公益性のある民間組織に(公益法人化)

日本自転車振興会に求められる役割

公益性

- ・ 競走の適正化、不正競走の排除など、公正で円滑な競輪の実施のための役割
- ・ 全国的な視野に立った公平な補助事業の実施

競輪の中核組織としてのリーダーシップ

競輪の中核組織として強いリーダーシップを発揮し、施行者協議会・自転車競技会・競輪選手会等の関係団体と協調しつつ、競輪事業の活性化と経営基盤の強化に向けて様々な施策を講じる。

アイデアを活かした事業や機動的な事業の実施で、競輪を活性化

例えば、競技演出のエンターテインメント性を高めた新しいスタイルの競輪で競技の魅力アップ
海外のトップレーサーを出場させる等、競輪の国際化の推進
スター選手の発掘・育成に向けた選手養成課程の弾力的な見直し
情報技術の進歩に合わせた新たな車券購入ツールの開発でファンの利便性向上

日本自転車振興会自身の経営改革

柔軟な組織編成や予算編成で経営改革を推進。

例えば、経営に精通した外部人材を登用して、競輪経営のコンサルティングに
前もって予想できないニーズに即応した補助金交付が可能に


2 . 組織のあり方

公益性

競輪の中核組織としてのリーダーシップ

アイデアを活かした事業や機動的な事業の実施で、競輪を活性化

日本自転車振興会自身の経営改革



**これらの役割を機動的かつ柔軟に果たせるよう、
目的と業務内容を自転車競技法に明示した
公益法人であることが望ましい。**

統合について

全く別個の競技であるオートレースと統合しても、合理化できるのは総務部門などごく一部に限られ、効果は限定的。他方、オートレースとは、ライバルとして競い合う関係。統合により同一の組織で両方の振興を図ることは、弊害が大きく、困難。

オートレースとの統合により競輪の売上がオートレースの運営に用いられる懸念があるなどから、競輪施行者は明確に反対の意思表示をしており、また、競輪を支えるファンの理解を得ることは困難。

日本小型自動車振興会との統合は、するべきではない。

3 . 補助事業のより一層の透明性・公平性の向上

日本自転車振興会補助事業の役割

日本自転車振興会への交付金は、社会還元の財源として、ギャンブルである競輪が広く社会に受け入れられ、健全な娯楽・レジャーとして発展していく上で、重要な役割を果たしている。



医療機器の整備

日本赤十字社、(財)癌研究会、(福)恩賜財団済生会ほか



愛 地球博会場で使用された Gondola

(財)2005年日本国際博覧会協会



オリンピック日本代表選手団の派遣

(財)日本オリンピック委員会



自転車安全基準
(社)自転車協会



東京国際映画祭の開催
(財)東京国際映像文化振興会



盲導犬育成訓練施設の整備
各地の盲導犬協会



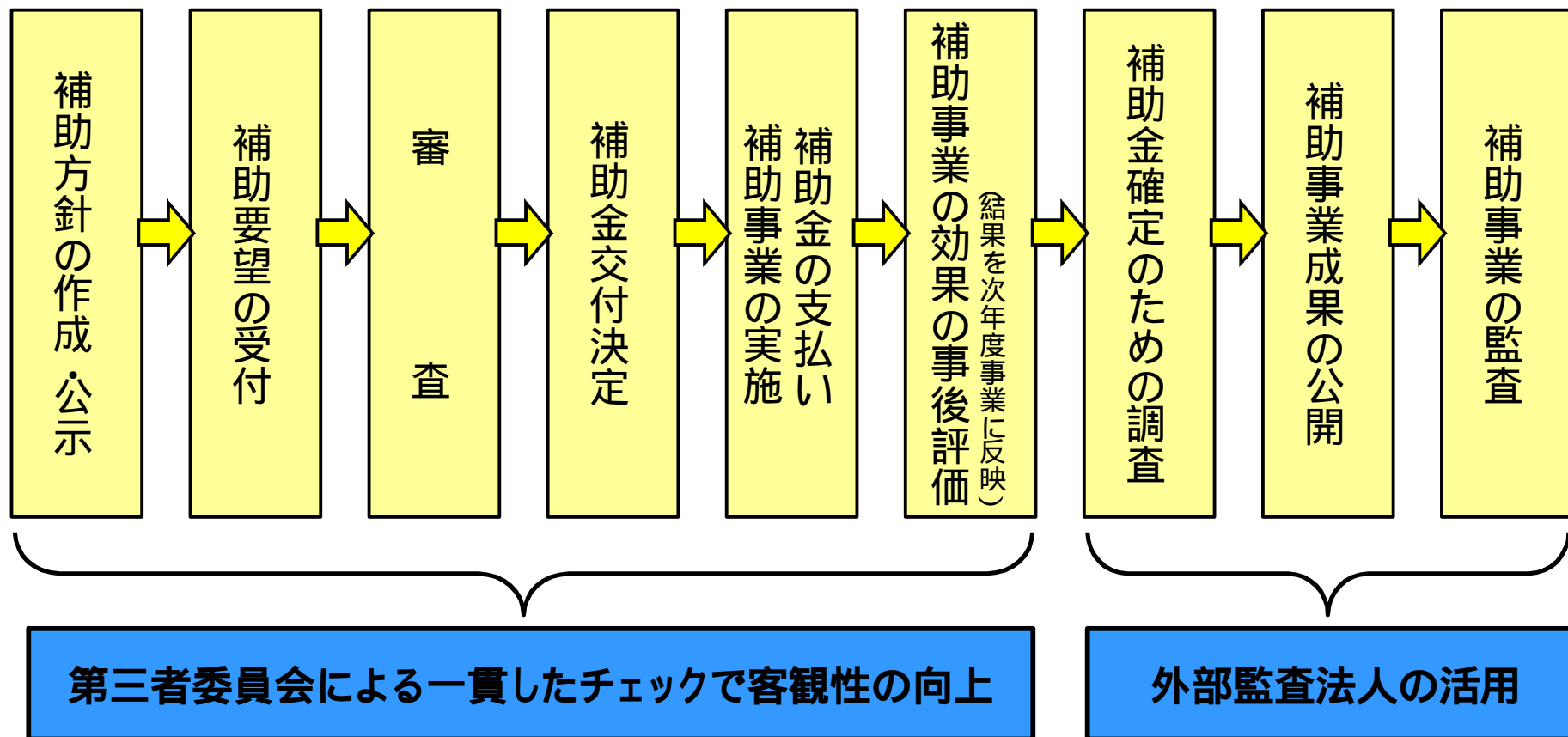
巡回母子検診指導車
(社)全国保険センター連合会ほか

3 . 補助事業のより一層の透明性・公平性の向上

補助事業は、競争の社会貢献・社会認知の柱。
補助金交付に当たって審査や評価のプロセスを充実させ、
より一層の透明性・公平性の向上を図る。

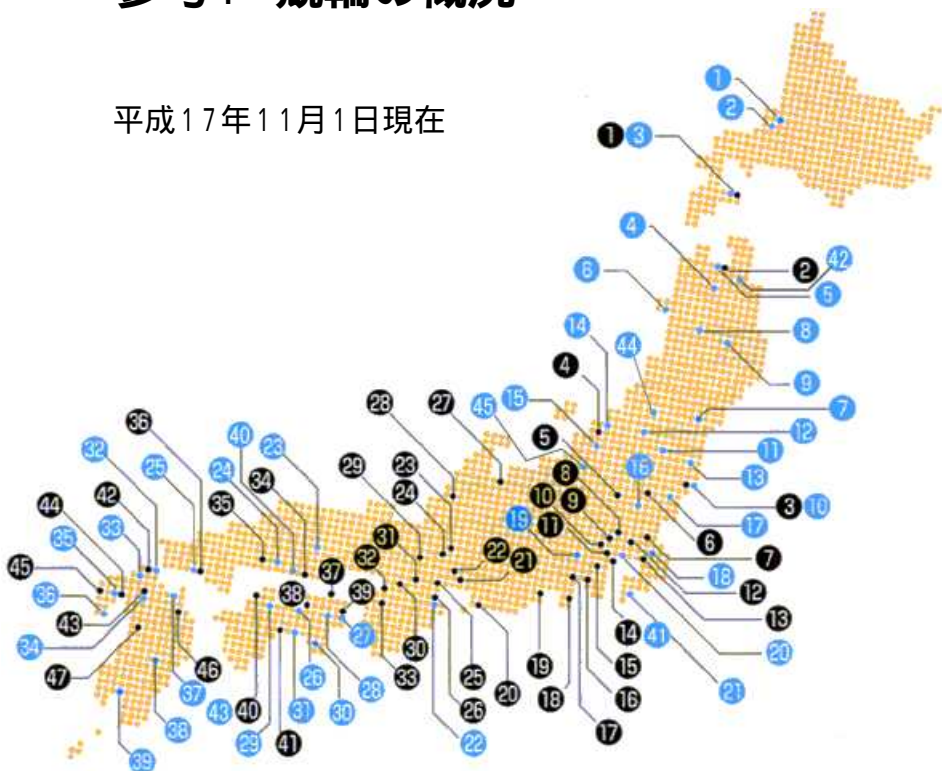


(改革案)



参考1 競輪の概況

平成17年11月1日現在



■ 競輪場

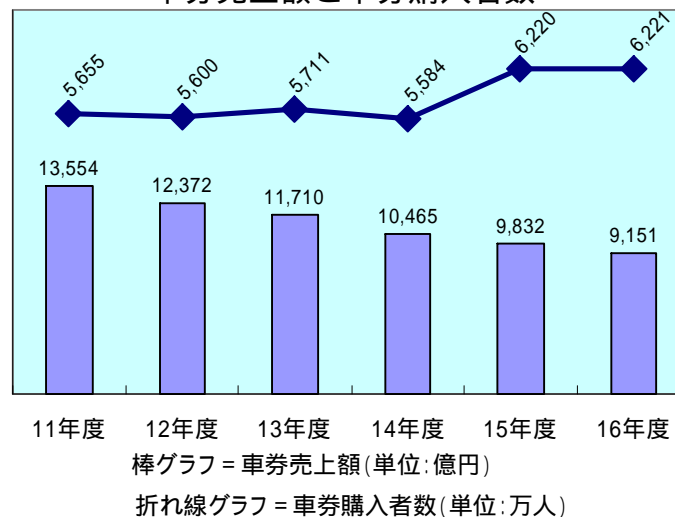
- ① 函館
- ② 青森
- ③ いわき平
- ④ 弥彦
- ⑤ 前橋
- ⑥ 宇都宮
- ⑦ 取手
- ⑧ 大宮
- ⑨ 西武園
- ⑩ 立川
- ⑪ 京王閣
- ⑫ 松戸
- ⑬ 千葉
- ⑭ 川崎
- ⑮ 花月園
- ⑯ 平塚
- ⑰ 小田原
- ⑱ 伊東温泉
- ⑲ 静岡
- ⑳ 豊橋
- ㉑ 名古屋
- ㉒ 一宮
- ㉓ 岐阜
- ㉔ 大垣
- ㉕ 四日市
- ㉖ 松阪
- ㉗ 富山
- ㉘ 福井
- ㉙ 大津びわこ
- ㉚ 奈良
- ㉛ 京都向日町
- ㉜ 岸和田
- ㉝ 和歌山
- ㉞ 玉野
- ㉟ 広島
- ㊱ 防府
- ㊲ 高松
- ㊳ 観音寺
- ㊴ 小松島
- ㊵ 松山
- ㊶ 高知
- ㊷ 小倉
- ㊸ 久留米
- ㊹ 武雄
- ㊺ 佐世保
- ㊻ 別府
- ㊼ 熊本

■ 専用場外

- ① サテライト石狩
- ② 札幌場外
- ③ 松風町SC
- ④ 藤崎場外
- ⑤ 青森前売SC
- ⑥ サテライト男鹿
- ⑦ サテライト大和
- ⑧ サテライト六郷
- ⑨ サテライト石鳥谷
- ⑩ いわき平場外
- ⑪ 郡山場外
- ⑫ サテライト会津
- ⑬ サテライトかしま
- ⑭ 新潟場外
- ⑮ サテライト中越
- ⑯ ウィンドーム館林
- ⑰ サテライト水戸
- ⑱ サテライトしおさい鹿島
- ⑲ サテライト双葉
- ⑲ ラ・ピスタ新橋[会員制]
- ㉑ サテライト鶴川
- ㉒ 川越場外
- ㉓ サテライト津山
- ㉔ サテライト山陽
- ㉕ 防府駅前SC
- ㉖ 国道前売SC
- ㉗ 江田SC
- ㉘ 鶴島SC
- ㉙ サテライトこまつ
- ㉚ サテライト安田
- ㉛ サテライト南国
- ㉜ ハビジョンシアター門司
- ㉝ サテライト北九州
- ㉞ サテライト久留米
- ㉟ サテライト武雄
- ㊱ サテライト長崎
- ㊲ サテライト宇佐
- ㊳ サテライト宮崎
- ㊴ サテライトみぞべ
- ㊵ サテライト笠岡
- ㊶ サテライト横浜[会員制]
- ㊷ サテライト六戸
- ㊸ 堀之内前売SC
- ㊹ サテライト朝日
- ㊺ サテライト妙高

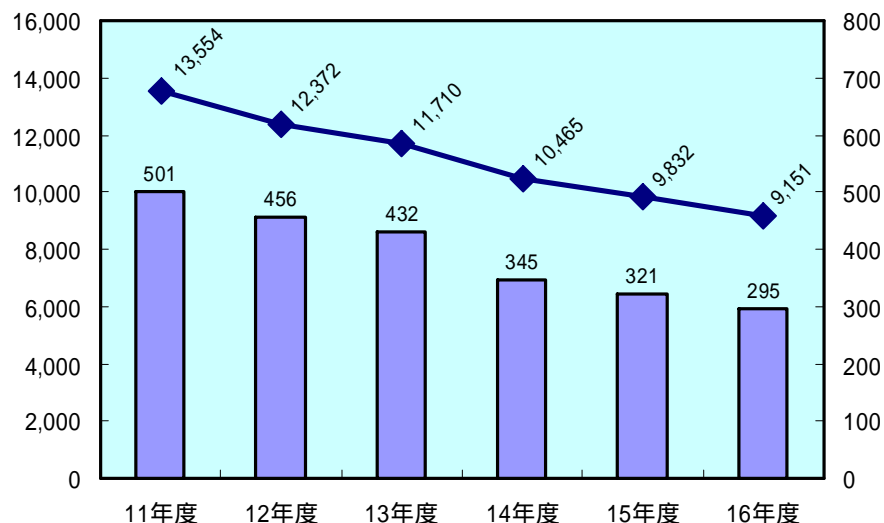
競輪施行者	58 施行者(6 府県、46 市、1 村、5 一部事務組合)
競輪場	47 ヶ所
専用場外車券売場	45 ヶ所
競輪選手	3,735 人(S 級1 班・2 班、A 級1 班～3 班)
競輪関係団体	(社) 全国競輪施行者協議会 自転車競技会全国協議会 (社) 日本競輪選手会 全国競輪場施設協会

車券売上額と車券購入者数



参考2 日本自転車振興会の合理化の概況

交付金収入の推移（単位：億円）



折れ線グラフ = 車券売上額 (左目盛) 棒グラフ = 交付金 (右目盛)

職員数の推移

平成11年4月1日	204人
平成13年4月1日	187人
平成15年4月1日	169人
平成17年4月1日	156人

組織の合理化

平成14年度より、組織のスリム化と業務の効率的・機動的な遂行のため、23課2室を18課3室に整理

役職員人件費の合理化の概況

年度	主な実施内容
14	役員本俸月額約5.8～12.4%引下げ 役員退職手当の算定率のうち「100分の36以内の割合を乗じて得た額」を「100分の28以内の割合を乗じて得た額」に引下げ 職員本俸・諸手当を見直し、年収ベースで約7%の引下げ 職員退職手当を約20%引下げ
15	役員本俸月額を1.2%引下げ 職員本俸月額を1.1%引下げ 役員退職手当の算定率のうち「100分の28以内の割合を乗じて得た額」を「100分の12.5の割合を乗じて得た額」に引下げ

その他の主な合理化の概況

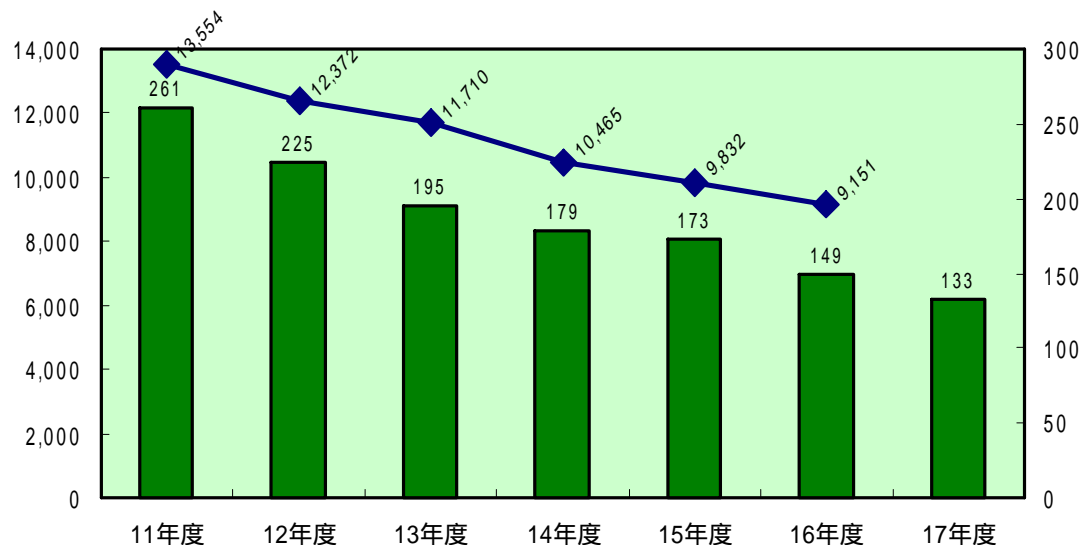
事務所縮小で借室料約17%削減(平成14年度)

情報システムの運用分担金約20%削減(平成16年度)

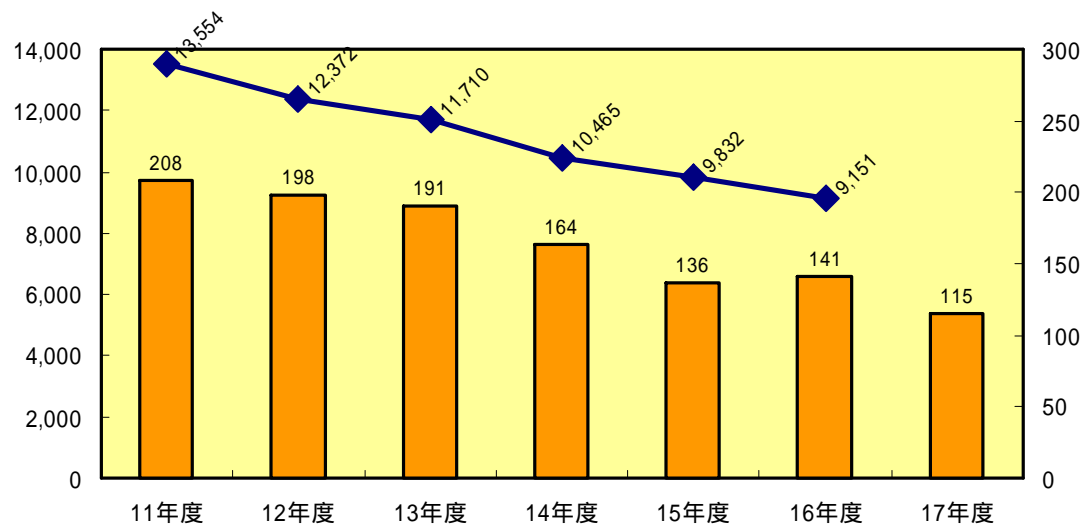
出張旅費支給基準を見直し、出張旅費約23%削減
(平成16年度)

参考3 補助事業の状況

機械工業振興補助事業・補助金額の推移（単位：億円）



公益振興補助事業・補助金額の推移（単位：億円）



折れ線グラフ = 車券売上額(左目盛) 棒グラフ = 補助金(右目盛)